

鶴岡市ボランティアセンターだより

発行・お問合わせ
鶴岡市社会福祉協議会
鶴岡市ボランティアセンター
〒997-0033 鶴岡市泉町 5-30
Tel: 23-2970 Fax: 23-9110
E-mail: shk-vol2@shk01.jp

～災害ボランティアセンター設置・運営訓練～



頻発している自然災害 コロナ禍での対応を訓練！

10月11日(日)、田川地区で鶴岡市総合防災訓練が実施されました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、これまでに比べて規模を縮小した訓練となりました。

内容も、田川コミュニティセンターを会場にした避難所設営と運営を主体とし、避難者に発熱者が出て救急隊に繋ぐまでの訓練等も行われました。「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」は、感染症予防に努めながら、実際に避難所設営の手伝いや救援物資の受付を手伝うボランティア活動等も取り入れた訓練を行いました。

▶ マatching班が、ボランティアに活動内容等を説明中！



会場によっては3密回避の難しさを実感！

今回は、避難所設置訓練と同じフロアに「災害ボランティアセンター」を設置したため、かなり狭いスペースでの訓練になりました。そのため、感染症予防のために間隔を空けるという状況をつくることができませんでした。

ただ、実際の災害発生時にも、必ずしも余裕のあるスペースを確保できるとはいえません。これまで、災害ボランティアセンターを設置する上で「感染症予防」を想定することはなかったため、今年のコロナ禍での様々な経験を活かして、いざという時に柔軟に対応できるように、鶴岡市とも話し合っています。

いざという時のために、日頃の関係づくりを！

鶴岡市社会福祉協議会では、災害時の応援に関する協定を宮城県大崎市社協や鶴岡青年会議所と締結しています。また、NPO 法人鶴岡災害ボランティアネットワークとは随時様々な取組を連携して行っています。

マatching班として、避難所に段ボールベッドを設置するボランティアを送り出す訓練を行いました。実際に組み立てる様子を見ると、経験がないと難しい作業だと思ったので、日頃から多くの人たちが練習することも必要だと感じました。関係する団体等が、日頃から連携しておくことが重要だと感じています。

NPO 法人鶴岡災害ボランティアネットワーク 深沢 茂幸さん

ボランティア役の人が、災害ボラの受付場所がどこか分かりにくかったので、のぼり旗等があれば目立つと思いました。

災害の時は、混乱することも多いと思います。青年会議所としても、防災訓練や研修会等で関係団体と人間関係を築き、いざという時にスムーズに連携できるようにしていきたいと思います。

公益社団法人鶴岡青年会議所
事務局長 木曾 亮慧さん



◀ 今回も、鶴岡青年会議所やNPO等と共に訓練を行った！



車いす生活の不便さだけでなく、障がいがあっても明るく前向きな人たちにも多くのことを学んだ！

高校生と障がいがある人が いっしょに市街地を調査！



11月17日(火)、鶴岡中央高校で福祉を学ぶ3年生 29人と鶴岡市身体障害者福祉団体連合会のメンバーが、バリアフリーマップ作成等にむけた市街地調査を行いました。

この取組は、「東京 2020 オリンピック。パラリンピック」に向けた鶴岡市と鶴岡市ホストタウン推進委員会の「共生社会実現のための研修会」の一環として実施されたものです。(担当: 市スポーツ課)

企業・団体等の地域貢献活動

子どもたちにハロウィン訪問！

～ダイナム鶴岡店～

10月27日(火)、パチンコのダイナム鶴岡店(白山)では児童養護施設七窪思恩園を訪問し、子どもたちにひと足早い「ハロウィン」のお菓子をプレゼントする活動を行いました。当日は、従業員3名がキャラクター仮装をして施設を訪れ、子どもたちを喜ばせていました。

ダイナムでは、全国の各店舗で様々な地域貢献事業を行っています。また、山形県内の各店舗の活動を統括する「地域共生担当」の窓口を東根市に設置して、県内の各地域と店舗を繋げる役割を果たしております。

《鶴岡店の西沢店長さんより》

子どもたちに関わる活動は今回が初めてでしたが、想像以上に喜んでもらえてとても嬉しかったです。

これからも、地域と繋がる社会貢献活動に取り組んでいきたいと思っております。



▲子どもたちも大喜び！



ボラセンに車イスをいただきました

～「小さな親切」運動県本部～

「小さな親切」運動県本部の設立45周年を記念して、山形県内各地に計9台の車イスが贈られました。そのうち、鶴岡地域では当ボランティアセンターにいただき、10月30日(金)、市社協会議室で、鶴岡「小さな親切」の会(事務局: 荘内銀行)の上野雅史会長様より、市社協山木知也会長に贈呈されました。

同会は、これまでも自分でできる親切を通じて地道に行われている活動の顕彰や、様々な寄贈を行ってこられております。

ボランティアセンターでは、市民が病気や怪我等で一時的に車イスが必要になった場合や、学校や企業・団体等が福祉学習やイベントを開催する時に貸し出す事業を行っており、今回の1台もそのような取組で使わせていただく予定です。

本当にありがとうございました。

◀鶴岡「小さな親切」の会上野会長(左)



お知らせ

傾聴ボランティア活動があります！

病気、障がい、孤独、不安等々により、誰かに話を聞いてもらいたい方に対して、専門の講座を修了した「山形傾聴塾」のメンバーが訪問して、お話を耳を傾けてくれます。話しを聞いてもらうことで、気持ちが落ち着き、今を生きる力が湧いてくるかもしれません。

希望する方は、
鶴岡市ボランティアセンターへ
☎ 23-2970



長年の地道な活動に感謝いたします！

～12月受賞予定～

♥厚生労働大臣(ボランティア功労)表彰 12/22 伝達式
湯野浜婦人会 (湯野浜地区)

♥山新「愛の鳩賞」 12/14 贈呈式
武久明雄さん、利江子さん夫妻 (温海地域)



※受賞者の詳細は次回号で紹介いたします。

コロナ禍での対応！

ボランティアセンターでは、感染症予防のために、下記の事業等でやむを得ず中止や縮小などの対応をさせていただいている場合があります。

ご理解をいただきますよう、お願いいたします。

福祉学習、ちょボラ場、交流や研修事業、
ボランティア活動のコーディネート(一部)、他

エコキャップ収集終了します！

8月発行の「ボランティアセンターだより267号」でお知らせしましたが、12月をもってボランティアを窓口とする「エコキャップ」の収集を終了いたします。

引き続き「プルタブ」の収集は行い、鶴岡市内の作業所月山の協力により、「世界の子どもにワクチンを」の活動に支援していきますのでよろしくお願い致します。

《らくがき》 あっという間に、カレンダーが最後の1枚に。今年は、コロナ・コロナで時が過ぎた。新しい年は、大好きな人たちに心おきなく逢える年になりますように ★★★ (Y)

